

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 16 No.09 2014年05月15日号

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp

Copyright 2014 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

■ライフサイズ、ビデオ会議システムの新製品を発表、インテグレーションモデルやローエンドカメラ、大規模 HD ビデオ対応 MCU を国内提供開始

ライフサイズ・コミュニケーションズ(Logitech 社事業部門、日本法人:株式会社ロジクール内、東京都港区)は、ライフサイズビデオ会議システムの新製品を発表した。(5月1日)

今回発表された新製品は、インテグレート向けビデオ会議システム端末「LifeSize Icon 800」、小型のローエンドカメラ「LifeSize Camera S」、大規模向けインフラソリューション「LifeSize UVC 3380」。

LifeSize Icon 800 は、Icon 600 を内蔵したラックマウントタイプのビデオ会議システム端末。大会議室や講堂、ホールなどでの用途を想定したシステム構築に最適な AV インテグレーションモデル。



LifeSize Icon 800 (ライフサイズ・コミュニケーションズ 資料)

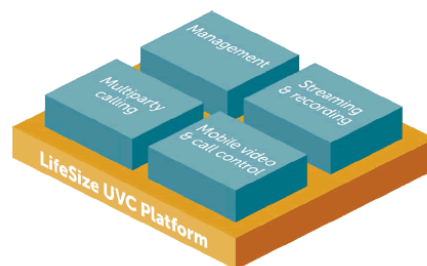
特長は、最大4台のカメラを接続すると共に、Phoenix インターフェイスのオーディオ装置が接続可能となっている。マルチディスプレイにも対応している。

加えて、「LifeSize Link Adaptor」も提供する。LifeSize Icon 600 および Icon800 端末とビデオ会議用拡張マイク「Phone/Digital MicPod」の間を接続するケーブルで最大61メートルまで伸ばすことができる。



LifeSize Camera S(上写真、ライフサイズ・コミュニケーションズ 資料)は、低コスト版のフル HD 対応(1080p60)対応で、光学3倍ズームかつ天井吊り下げが可能となっている

PTZ カメラ。ライフサイズとしては、現在販売している光学10倍ズームを特長とした上位モデル「LifeSize Camera 10x」とあわせ2モデルのカメラをユーザの用途にあわせ提供する。



LifeSize UVC プラットフォーム (ライフサイズ・コミュニケーションズ 資料)

LifeSize UVC

3380 は、大規

模会議向けのビデオインフラ構築用アプライアンスサーバ。ビデオ会議インフラ機能を仮想環境上で集約するソフトウェアインフラソリューション「LifeSize UVC プラットフォーム」をアプライアンス化した製品。この LifeSize UVC 3380 では、仮想環境で提供する MCU 機能「UVC Multipoint」をインストールした場合、35 の HD ポートをフルトランスコーディングでサポートする。ちなみに、480p では 70 ポート、360p では 105 ポート対応する。なお、UVC3380 以外には、中小規模用の「LifeSize UVC 3350」や「LifeSize UVC 1150」などもある。

今回発表の新製品は、販売パートナーを通して国内での提供を開始する。

*関連記事：2013年3月15日号、2013年12月15日号

■NTT アイティ、オンプレミス型ミーティングプラザの機能拡張：最大 128 人の会議室や、オプションで 1 万人の大規模講演に対応

NTTアイティ株式会社(横浜市中区)は、オンプレミス型遠隔 Web 会議サービス「ミーティングプラザ V7.1」を 5 月下旬より販売開始する。(5 月 9 日)

ミーティングプラザ V7.1 オンプレミス型では、サーバープログラムを大幅に向上させたことで、以下の機能拡張を行った。

(1)これまで1会議室あたり 32 人が最大であったが、今回の拡張によって1会議室に 128 人まで入室可能となった。ただし利用にあたっては同時接続数のライセンスが必要となる。

(2)大規模オプションを選択すると、1会議室に 129 人以上入室することが可能になる。これにより、これまで 2,000 人を上限としていた大規模講演が 10,000 人まで可能となった。なお、音質の良さは従来通り高品質のまま利用できるという。

(3)3月にクラウドサービスで提供を開始した、「ボイス会議モード」と「新方式デスクトップ共有 (VAPS)」の機能がオンプレミス型でも利用できるようになった。その他、遠隔設定機能、IP アドレス接続制限、予約画面改良、ビデオデバイス等のセルフチェック機能等も含まれる。

今回販売を開始するオンプレミス型ミーティングプラザ V7.1 は、利用者から「入室者の多い会議をもっと手軽に導入したい」という要望に応えたもの。

価格は 140 万円(同時 16 接続)からとなっている。担当窓口は、同社ミーティングプラザ事業部。

ミーティングプラザは 2001 年以來、3,000 社以上の導入実績をもつ資料共有型 Web 会議サービス。PC、電話、スマートフォン、タブレット PC で利用でき、クラウドサービスとオンプレミスを提供している。

*関連記事：2013 年 3 月 31 日号

■キヤノンソフトウェア、Web 会議システム「IC³」の iPad 版の提供開始

キヤノン MJ IT グループのキヤノンソフトウェア株式会社(東京都品川区)は、Web 会議システム「IC³(アイシーキューブ)」で利用できる iPad アプリケーション「IC³ for iPad」を 5 月 14 日から提供開始する。(5 月 12 日)

IC³ for iPad は、タップやフリックというシンプルな動作で画面の切り替えや拡大縮小、カメラやマイクの ON/OFF など会議に必要な操作を一画面上で行うことができる。

メリットとしては、特別な設備が必要なテレビ会議システムがなくとも、すばやく遠隔会議を始めることができる点が挙げられる。また、サテライトオフィスや建設現場との打ち合わせといったモバイル環境のほか、店舗間のコミュニケーション、BCP 対策などの場面においても簡単・便利に活用できるとしている。

今後は、ワークスタイルの多様化やビジネスコミュニケーションの促進に対応するため、Web 会議をさらに身近で手軽なものに変えていくという。

iPad のビジネス活用を考えている建設業、製造業、金融業、サービス行などを中心に販売し、2015 年に売上 5 億円(関連売上を含む)を目指す。同社では 2005 年から IC³を販売している。

■ポリコムジャパン、新たにビジュアルコラボレーション 5 製品を販売開始、年間ベースの契約で提供するプラットフォームソフトウェアも

ポリコムジャパン株式会社(東京都千代田区)は、日本国内において新たにビジュアルコラボレーション 5 製品を販売開始することを発表した。(5 月 13 日)

(1)「Polycom RealPresence One」:ポリコム初の年間ベースの契約(サブスクリプション)モデルで提供するビデオコラボレーション用プラットフォームソフトウェア。「ユーザライセンス数」と「多地点接続の数とビデオ会議のタイプ」そして「サービスレベル」を、それぞれ選択するだけで、オンプレミ

またはプライベートクラウド環境でビデオ会議を利用することができる。

メリットは、ビデオ会議を初めて導入する企業に適しており、従来のように専用のアプライアンスを購入する必要なく、初期費用を抑えられるところ。手ごろな価格でビデオ会議の利用を開始できる。

Polycom RealPresence One は、「Polycom RealPresence プラットフォーム Virtual Edition」「ソフトウェア会議端末」「Microsoft Lync オプション」「サービスオプション」からなる。

Polycom RealPresence プラットフォーム Virtual Edition には、「Polycom RealPresence Platform Director」「Polycom DMA」「Polycom RealPresence Resource Manager」「Polycom RealPresence Access Director」「Polycom RealPresence Collaboration Server」が含まれる。

ソフトウェア会議端末には、「Polycom RealPresence CloudAXIS スイート」「Polycom RealPresence Mobile」「Polycom RealPresence Desktop」が含まれる。

Microsoft Lync オプションには、「Polycom RealPresence Content Sharing Suite アプリケーション」が含まれる。

サービスオプションとしては、「プレミアムソフトウェアサービスオプション」と「アドバンテージサービスオプション」を提供する。

(2)「Polycom RealPresence Collaboration Server 1800」: 現在販売されている同シリーズ(1500/2000/4000)を拡充する製品。H720p の映像品質で最大 75 拠点 (HD 1080p/60fps で最大 18 拠点)と接続できるエントリーレベルの多地点接続装置(MCU)。

(3)「Polycom RealPresence Group シリーズ Media Center」: 会議室の規模に合わせて、Group シリーズのビデオ会議システムとともに、最適なモニターやカートを選べるパッケージソリューション。

(4)「Polycom CX5500 ユニファイド カンファレンス ステーション」:「Microsoft Lync 2013」に最適化されたユニファイドコミュニケーション会議システム。「Polycom CX5100 ユニファイド カンファレンス ステーション」の上位機種。CX5100 の

すべての機能に加え、スタンドアロンの SIP/VoIP 電話機能を搭載している。

(5)「Polycom Eagle Eye IV カメラ」: Group シリーズビデオ会議システム専用設計された 1080p/60fps 対応カメラ。12 倍ズーム(シルバー)と 4 倍ズーム(黒)の 2 モデル。4K 対応のカメラセンサーを搭載し、高速で正確なフォーカスが可能。また、オプションのワイド アングル レンズの使用で、水平視野角が通常の 65 度から 85 度に拡張することも可能。個室から大規模な役員会議室に至るまで対応しているという。

今回発表された5製品は、ポリコム認定販売代理店を通じて、5月13日より提供開始する。

ビジネス動向-海外

■ベトナムの通信事業者 FPT Telecom 社が Vidyo 社のビデオ会議サービスおよびソリューションを採用

Vidyo 社は、ベトナムの通信事業者 FPT Telecom 社が Vidyo 社のビデオ会議サービスとソリューションの提供を開始したと発表。(4月15日)

FPT Telecom 社は、1997 年設立。国内で三本指に入る通信事業者。ブロードバンドインターネット、ケーブルインターネット、TV オンラインサービスなど各種通信サービスをベトナム国内で提供している。

Vidyo 社のソリューションは、ビジネスおよび政府向けに提供されることになっており、出張費の削減や業務の生産性向上に役立つと期待している。

■スイスの大手通信事業者 Swisscom 社、Vidyo 技術を採用したクラウドベースのビデオ会議サービスを開始

Vidyo 社によると、スイスの大手通信事業者 Swisscom 社が新しく開始するクラウドベースのビデオ会議サービスに VidyoWorks を採用したと発表。(4月17日)

Swisscom 社は、VidyoWorks プラットフォームを活用してクラウドベースのビデオ会議サービス「Vidia」を開始した。Swisscom 社のクラウドサービス上で提供される。スマートフォン、タブレット、デスクトップでの多地点 HD ビデオ会議サービスが可能だ。この Vidia サービスは、中小企業をターゲットにしたサービスではあるが、大企業でもコンシューマにとってもメリットのあるサービスという。

今回の採用にあたっては、Swisscom による長期間による厳格な評価検証に基づいて採用が決まった。堅牢性やキャリアグレードの拡張性、豊富な API、最新技術などが高く評価されたという。

■ディメンションデータ社、マネージドビデオ会議サービスの Teliris 社を買収、クラウドおよびマネージドビデオ分野拡大戦略の一環

ディメンションデータ社は、マネージドビデオ会議サービスの Teliris 社を買収したと発表。買収金額は公表されていない。(5月12日)

Teliris 社は、2001 年設立で、初期のクラウドベースのマネージドテレプレゼンスサービスの提供を開始した企業の一社。「Lentaris プラットフォーム」によって、イマーシブ型テレプレゼンスやビデオ会議サービスを提供してきた。オフィスは、ロンドン、コネチカット、ニューヨーク。

ディメンションデータ社は、売上と端末台数において、世界でもっとも実績を達成しているビデオインテグレータ。オンプレミスからマネージド、プライベートクラウド、VaaS まで幅広く提供する。MSVC は今日、430 社 5,600 ビデオ端末(シスコ、ポリコム)による 2 万通話を処理しているという。

今回の買収は、ディメンションデータ社の積極的な成長戦略の一環として実施したもので、クラウドおよびマネージドビデオ分野において急速な事業拡大を図る狙いがある。Teliris 社は当面同社のブランドを維持し、これまで同様なサービスを提供する予定。

人事動向-海外

■米ポリコム社、Michael Frendo 氏を、同社のワールドワイドエンジニアリング担当上級副社長 (EVP) に任命

米ポリコム社は、Michael Frendo 氏を、同社のワールドワイドエンジニアリング担当上級副社長 (EVP) に任命したと発表。(5月12日)

Frendo 氏は、A.E Natarajan 氏の後任として就任する。同社のビジネスオペレーションの効率化やビデオ・音声・コンテンツコラボレーション製品のライフサイクル管理を統括する。同社 CEO Peter Leav 氏へ報告する。

ポリコム社に入社する前は、Infinera 社の上席副社長 (SVP)。その前はアバイア社でユニファイドコミュニケーションソリューションビジネスユニットのジェネラルマネージャ。ノーテルのエンタープライズソリューションをアバイアのポートフォリオに統合する上で尽力した。また、Juniper Networks 社、McDATA 社、シスコシステムズ社などで重要なポストの経験がある。

セミナー・展示会情報

<国内>

■Polycom Day 名古屋・大阪・福岡

日時:名古屋 5月16日(金)13:30~16:30 (受付:13:00)
大阪 5月20日(火)13:30~16:30 (受付:13:00)
福岡 5月22日(木)13:30~16:30 (受付:13:00)

会場:名古屋(名古屋ルーセントタワー16階)
大阪(グランフロント大阪)
福岡(TKPカンファレンスシティ博多)

主催:ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.polycom.co.jp/company/events.html>

■ZDNet Japan 情報共有セミナー

日時:5月27日(火) 12:30 開場 13:00 開演

会場:ベルサール神保町 アネックス

主催:朝日インタラクティブ株式会社 ZDNet Japan

詳細・申込:<http://japan.zdnet.com/info/event/info-sharing/201405/>

*ライフサイズ・コミュニケーションズ(日本)の講演もあり。

(提供:VTVジャパン株式会社)

■BIG PADを活用したクラウド型Web会議サービス 「TeleOffice」体感セミナー

日時:5月28日(水) 14:00~16:00

*4月以降9月まで毎月2回開催

会場:シャープ株式会社 東京支社

主催:シャープビジネスソリューション株式会社

詳細・申込:<http://www.sharp-sbs.co.jp/event/regular/teleoffice-a.html>

■アバイア・モバイル・コラボレーション・セミナー

日時:大阪6月3日、

福岡6月5日、東京6月24日、札幌6月27日

会場:大阪(グランキューブ)、福岡(TKP ガーデンシティ博多)

東京(ベルサール八重洲)、札幌(アスティ45内 ACU 会議室)

主催:日本アバイア株式会社

詳細・申込:http://www.ibma.jp/avaya_event/

■後悔しないWeb会議を選ぶために事前チェックすべき 「6つのポイント」セミナー~大阪・東京で同時開催！~

日時:06/12(木) 15:30~17:00 (受付:15:00)

会場:東京:キヤノンソフトウェア 本社(東京都品川区)

大阪:キヤノンソフトウェア 大阪堺筋事業所(大阪市中央区)

主催:キヤノンソフトウェア株式会社

詳細・申込:

東京:<https://reg.canon-soft.co.jp/public/seminar/view/204>

大阪:<https://reg.canon-soft.co.jp/public/seminar/view/205>

国内その他:<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他:<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

*イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

展示会出展情報

■株式会社プリンストン

(旧:プリンストンテクノロジー株式会社)

展示会:第5回教育ITソリューションEXPO

日時:5月21日(水)~23日(金) 10:00~18:00

会場:東京ビッグサイト 東1,2ホール(小間番号:10-41)

内容:【アクティブラーニングを促進するコミュニケーション&コラボレーション】をテーマにアクティブラーニングで使える製品を紹介する予定。

詳細:<http://www.princeton.co.jp/news/2014/04/201404231100.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作:カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

情報発信について

CNAレポート・ジャパン(橋本啓介)では、国内外における、「製品・サービス」「ビジネス」「ユーザ導入・利用」「決算発表」「人事発表」「市場統計データ」「セミナー・展示会」といった観点から、インターネットに公開されている、各社のプレスリリースやお知らせ、ニュースメディアサイト、ポータルサイト、ブログ、掲示板、youtube、メルマガ、Linkedin、Twitter、Facebook、google+などに掲載されている遠隔会議関連の情報を日々収集しております。

下記配信では、市場トレンドを見ていく上で参考になるとと思われる情報を精査したうえで配信しています。皆さまの情報収集と合わせてご利用いただければと存じます。

定期レポート(15日・月末発行):各社からのプレスリリース、CNAレポート・ジャパン直接取材による記事

Dtc-forum メーリングリスト、フェイスブック&Twitter(それぞれほぼ毎日配信):定期レポートであつまっている各社からのプレスリリースや直接取材に加え、遠隔会議システムに関する情報全般。

詳細は、<http://cnar.jp>「情報配信について」をご覧ください。

編集後記

今号もお読みいただきありがとうございました。

CNAレポート・ジャパンWebサイトはゴールデンウィーク期間にリフレッシュ作業を行いました。今回はサイトのデザインはそのまま、テキストコンテンツを中心に整理させていただきました。まだまだこまかなところで修正等が必要なところがございますが、順次行っていく予定です。

閲覧される方に何かお役に立てればと思いますので、よろしければご活用いただければ有難いです。

次号もよろしくお願ひ致します。

CNAレポート・ジャパン 橋本啓介